

理学部及び工学部の改組予定について（平成31年4月改組申請中）

愛媛大学は、下記のとおり、平成31年4月に理学部及び工学部を改組する予定です。これらの計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するものであり、変更があります。

この入学者選抜に関する要項に掲載する募集人員、出願資格・要件、入学者選抜方法及び選抜期日などはすべて予定です。

詳細については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知（平成30年8月末頃）後、順次公表する学生募集要項で発表する予定です。

記

理学部の改組（平成31年度）

学 科
数学科
物理学科
化学科
生物学科
地球科学科



学 科	コ ー ス
理学科	数学・数理情報コース
	物理学コース
	化学コース
	生物学コース
	地学コース

工学部の改組（平成31年度）

学 科 等	
機械工学科	
電気電子工学科	
環境建設工学科	土木工学コース
	社会デザインコース
機能材料工学科	
応用化学科	
情報工学科	

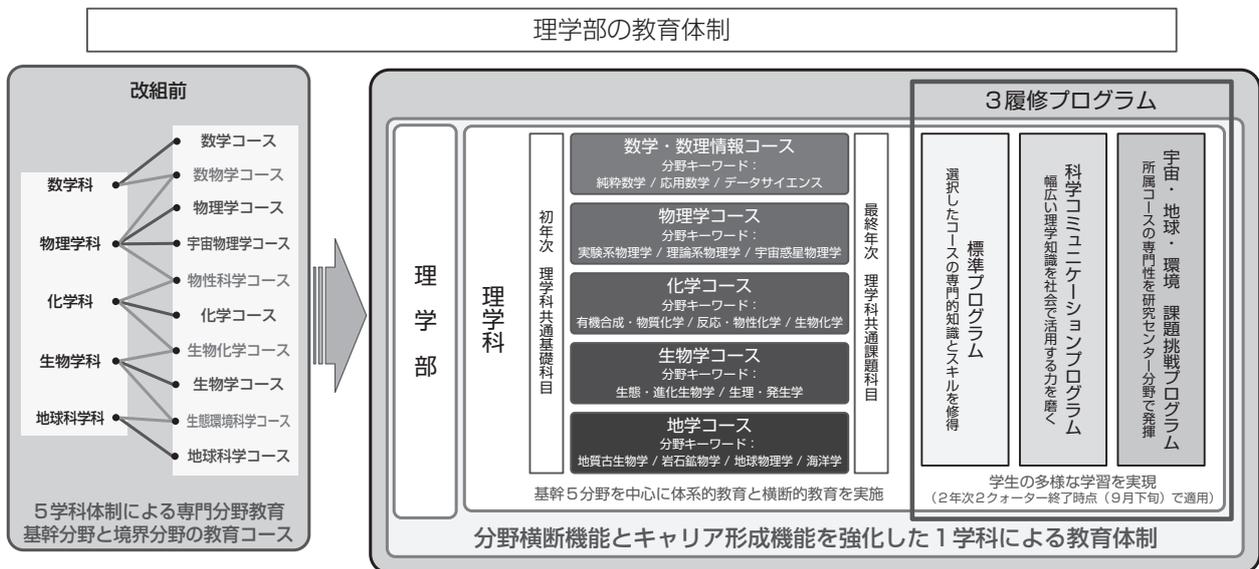


学 科	コ ー ス
工学科	機械工学コース
	知能システム学コース
	電気電子工学コース
	コンピュータ科学コース
	応用情報工学コース
	材料デザイン工学コース
	化学・生命科学コース
	社会基盤工学コース
	社会デザインコース

◇理学部は5学科から1学科5教育コースに

急速に変化していく社会のニーズに応えるため、分野横断機能とキャリア形成機能を強化した1学科（5教育コース3履修プログラム）による教育体制に改組します。

コースカリキュラムの特徴



教育カリキュラムのコンセプト

- ・分野の体系的教育と横断的教育の両立、多様なキャリア形成に向けた履修の柔軟性
- ・基礎学力の確立と科学を学ぶ意識を高める初年次共通教育
- ・分野を超えて課題解決力を強化する最終年次のリサーチワーク
- ・次世代社会の基盤をなす数理情報（データサイエンス）分野教育の実施
- ・先端研究3センター*の強みを活かした先端的学際分野教育の実践

* 沿岸環境科学研究センター、地球深部ダイナミクス研究センター、宇宙進化研究センター

それぞれの選択コース・プログラムで想定される専門的な就職先・進路

理学科	数学・数理情報コース 数理情報系計算スキル	物理学コース 物理学系実験スキル	化学コース 化学系実験スキル	生物学コース 生物学系実験スキル	地学コース 地学系野外調査スキル
標準プログラム 選択したコースの専門的知識とスキルを修得	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信業 ● 統計コンサルタント ● 金融業 ● 数学教員 ● 大学院進学 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信業 ● 製造業 (機械・電気関係) ● 理科教員 ● 大学院進学 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造業 (化学関係) ● 化学系総合職 ● 分析サービス業 ● 理科教員 ● 大学院進学 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造業 (食品・農業関係) ● 環境コンサルタント ● 理科教員 ● 大学院進学 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地質・建設コンサルタント ● 学芸員 ● 理科教員 ● 大学院進学 など
科学コミュニケーションプログラム 幅広い理学知識を社会で活用する力を磨く	各コースの専門的知識と基盤的スキルを基礎に、広く社会で活躍 マスコミ関係、学術・教育サービス、中学・高校教員、 学芸員、ジオパーク専門員、一般職公務員、地域における各種民間企業、など				
宇宙・地球・環境課題挑戦プログラム 所属コースの専門性を研究センター分野で発揮	各コースの専門性および宇宙・地球・環境分野の科学的専門知識を活かして活躍 精密機器製造業、超高压機器製造メーカー、 エネルギー・宇宙開発・生態・環境分析等に関する企業や公共機関などの技術開発職、 専門職公務員、研究職、大学院進学、など				

選抜方法とコース配属

一般入試では、大学入試センター試験（5教科7科目）、調査書のほか、個別学力検査（前期日程では数学、物理、化学、生物、地学のいずれか一科目の記述式試験、後期日程ではA（数学の記述式試験）またはB（口頭試問を含む面接））によって選抜します。推薦入試では、教育コースごとに推薦書・調査書と口頭試問を含む面接によって選抜しますが、これに加え、数学・数理情報、物理学、化学の3コースにおいては大学入試センター試験（4教科6科目）による二次選抜を実施します。

一般入試による入学者は入学時点では教育コースに所属せず、2年進級時に自分の志向・適性に合った教育コースを個別学力検査の科目に関わりなく選択することができます。一方、推薦入試による入学者は受験した教育コースに入学時から所属します。

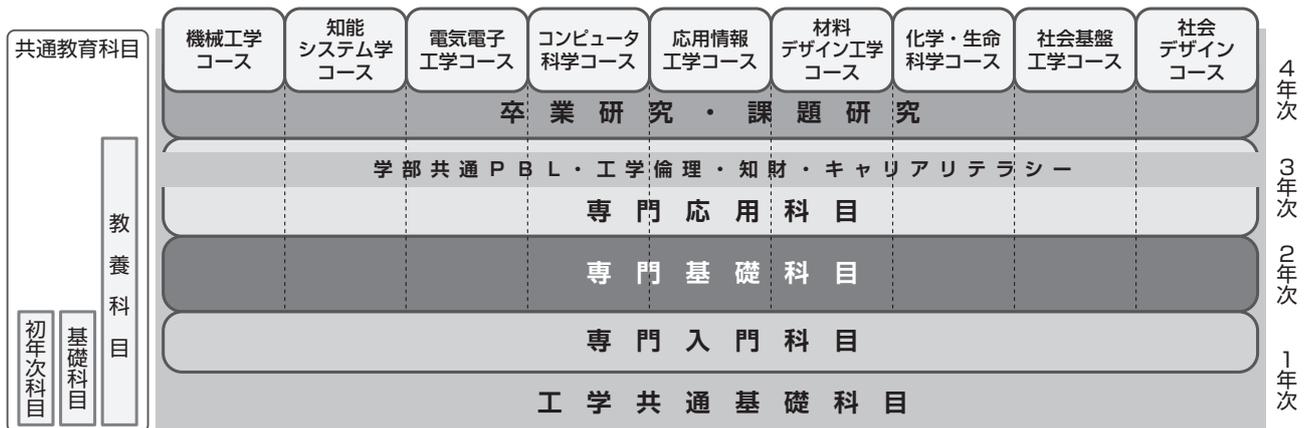
学 科	コ ー ス 等	入学定員	募 集 人 員			
			一 般 入 試		推 薦 入 試	
			前期日程	後期日程	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ
理学科	数学受験	160	42			
	物理受験		40			
	化学受験		40			
	生物受験		30			
	地学受験		8			
	A（数学）	23		13		
	B（面接）			10		
	数学・数理情報コース	42				10
	物理学コース					5
	化学コース					8
	生物学コース				7	
	地学コース				12	
	合 計	225	160	23	19	23

◇工学部は6学科から1学科9教育コースに

刻々と変化する産業構造に柔軟に対応し、“ものづくり”あるいは“システムづくり”ができる、創造性豊かな工学系人材を育成するために、1学科9教育コース（4分野）に改組します。

コースカリキュラムの特徴

1年次に共通基礎科目、共通実験、専門入門科目を必須とし、工学系基礎スキルを習得します。
PBL（課題解決型学習）を導入し、社会で必要な課題の発見・解決能力の涵養を図ります。
学生の希望調査、1年次で履修した科目の内容および成績によって、2年次開始時に各教育コースに配属します。
各教育コースの卒業要件に必要な科目を学生が主体的に履修するための履修指導を行います。



それぞれのコースで想定される専門的な就職先・進路



選抜方法とコース受入人員

一般入試は理型入試受験と文理型入試受験があり、大学入試センター試験と個別学力検査の成績により、工学科全体の合格者が決まります。文理型入試は社会デザインコースのみの募集で、合格者は社会デザインコースに配属されます。理型入試の合格者は入学時にはコース配属されません。ただし、理型入試受験の志願者は出願時に4分野に対する希望順位を記述します。合格者は、希望と入試成績に沿って、分野ごとに設定された初年次履修指導クラスにクラス分けされます。

推薦入試は、志望コースごとに募集、選抜します。

なお、1年次後学期に配属希望調査を行い2年進級時にコース配属が決定します。

学 科	分 野	コ ー ス	受入人員 の目安	入学定員	募 集 人 員			
					一 般 入 試		推 薦 入 試	
					前期日程	後期日程	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ
工学科	機械・システム分野	機械工学コース	70	500	326 [13]	88 [6]	2	12
		知能システム学コース	20				2	2
	電気・情報分野	電気電子工学コース	80				5	15
		コンピュータ科学コース	40				2	4
		応用情報工学コース	40					8
	材料・化学分野	材料デザイン工学コース	70				2	8
		化学・生命科学コース	90				3	5
	土木・環境分野	社会基盤工学コース	65				5	5
		社会デザインコース	25				3	3
	合 計						500	500

注) 受入人員の目安は2年進級時に配属される各コースの受入人員の目安です。(入学定員ではありません。)

表中の [] の数は「文理型入試(社会デザインコース)」の募集人員を内数で示しています。